

台東区在宅療養支援窓口通信

平成31年3月号 No. 2

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<相談内容>



地域包括支援センター職員

患者家族から、「現在病院へ通院中だが、不定期に通っているため、担当医が頻繁に変わってしまっている。どうしたらよいか。」という相談を受けている。在宅療養支援窓口に対応をお願いしてよいか。

<支援内容>

相談者：家族（息子夫婦）。本人は、高齢者夫婦、相談時介護保険未申請。

地域包括支援センターで相談後、窓口に来所していただき、家族と面談を行った。本人は現在病院へ通院をしているが、不定期に通院しており、毎回違う医師にかかっていた状況だった。

面談を通して、かかりつけ医制度について説明を行い、病院や診療所への通院を検討した結果、病院への通院を継続してもらうことになった。また、家族の介護負担軽減のために、居宅介護支援事業所と連携し、ケアマネジャーを選定した。相談翌日に、ケアマネジャーと共に自宅を訪問し、ケアプランを作成して、訪問看護を開始した。あわせて、ショートステイやデイサービス等の情報提供を行った。

<対応結果、相談者の反応>

相談当日に問題点を整理し、在宅チームの核となるケアマネジャーを迅速に選定出来たことで、家族はとても安心した様子だった。本人は昨年末に旅立ちましたが、家族から相談当時の話をよくされ、感謝の言葉が聞かれた。

ケースを振り返って

このケースは、相談当日の面談で問題点を抽出し、即日居宅介護支援事業所と連携して対応することで早期に介護負担を軽減することができました。介入から2年余り、様々な課題が挙がっていましたが多職種と連携して対応する中で、地域で支え合うことの重要性を再確認する機会となりました。

相談員にとって在宅療養を支えるということは、本人やその家族を支えることでもあり、初回介入時より、**信頼関係を築き、本人・家族に安心感や満足感を持ってもらうことが**重要であることを改めて感じました。



○医療機関・介護サービス事業者からのご相談もお受けしています

在宅療養支援窓口では、在宅療養生活における医療面に関する様々な相談をお受けしています。

ケアマネジャーに対して、医療的課題に関するマネジメントや医療関係者との連携についてのサポートも行っておりますので、是非窓口へご相談ください！

（発行）台東区在宅療養支援窓口 電話：5603-0235

受付時間：月～金曜 9時～17時、土曜 9時～12時